

令和 6 年 6 月 25 日現在

機関番号：33911

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2018～2023

課題番号：18K00917

研究課題名（和文）日中戦争下の学術調査と人的交流を探るプロジェクト - 興亜留学生小川貫弑の記録より

研究課題名（英文）Project to investigate academic researches and human exchange during the Sino-Japanese War: based on the records of Koa overseas student, Kanichi Ogawa

研究代表者

藤井 由紀子 (FUJII, Yukiko)

同朋大学・仏教文化研究所・所員

研究者番号：40746806

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,600,000円

研究成果の概要（和文）：日中戦争時、仏教史学者小川貫弑が中国で行った学術調査に関する私的な記録類を、近代における日中交渉史の貴重な資料として学術的視点から価値つけた。記録の内容は仏教古典籍の調査・保存に関するものだが、その他、日本仏教の中国での布教活動に小川が従事していた資料を併せて解析することで、学術調査もまた中国に対する侵略政策の一環として実施されていた具体相を明らかにした。さらに、小川資料と同種の資料を探索し、許可の得られたものについては資料紹介の形で発表した。毎年度、研究調査の経緯・論文・資料紹介を報告書にまとめ、大学紀要に掲載し、重要な資料については画像データベースを構築、Webを通して広く一般に公開した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

研究の主軸とした「小川貫弑資料」は、中国古仏典の調査記録のほか、旅程や関係者の覚書、チラシ等の印刷物、個人撮影の写真、小川が講師を務めた中国人僧侶養成学校に関する資料など、小川が中国時代の思い出として保管していたものだが、公的・私的な内容が入り混じり、戦争下に占領先で行われた学術調査の実情をよく伝えるという点で貴重である。本研究では、上記資料に基づき、近代歴史学の発展と戦争との関係、戦時下における文化財保全の問題、さらには、文化財をめぐる日中間での人的交流の具体相を明らかにし、これらが日中交渉史上、重要な史資料となりうる可能性を示し、かつ、一部資料をデータベースとして広くWeb上で公開した。

研究成果の概要（英文）：During the Sino-Japanese War, the private records of Buddhist historian Kanichi Ogawa's academic investigations in China were valued from an academic perspective as precious materials for the history of Sino-Japanese negotiations in modern times. The records mainly focused on the investigation and preservation of Buddhist classical texts, but by analyzing these records together with materials related to Ogawa's involvement in the propagation activities of Japanese Buddhism in China, it was clarified that the academic investigations were also carried out as part of the invasion policy towards China. Furthermore, similar materials to Ogawa's records were found, and those that obtained permission were published in the form of material introductions. Every year, the process of the research investigation, papers, and material introductions were published as a report. Important materials were also incorporated into an image database and made widely available to the public through the Web.

研究分野：歴史学

キーワード：日中交渉史 近代仏教史 近代思想史 学史研究 学術調査 日中戦争 中国開教 植民地政策

様式 F-7-2

## 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実績報告書（研究実績報告書）

所属研究機関名称		同朋大学	機関番号	33911
研究代表者	部局	仏教文化研究所		
	職	所員		
	氏名	藤井 由紀子		

1. 研究種目名 基盤研究(C) (一般) 2. 課題番号 18K00917

3. 研究課題名 日中戦争下の学術調査と人的交流を探るプロジェクト - 興亜留学生小川貴弐の記録より

4. 補助事業期間 平成30年度～令和5年度

## 5. 研究実績の概要

2019年度より感染流行が始まった新型コロナウイルスの影響により、中国での現地調査が継続困難に陥り、2021年度以降、調査研究の方針転換を図った。具体的には、研究の主軸である西蔵寺蔵「小川貴弐資料」について、画像データベース「日中戦争下の学術調査と人的交流を探るプロジェクト 興亜留学生小川貴弐の記録」を立ち上げ、当初の計画とは公開の内容・見せ方を変えつつ、資料を段階的に、かつ前倒して公開することで、調査研究の目的の一つとして掲げていた類似資料・補充資料の調査の充実を目指した。山西省五台山関係の資料を公開した昨年度に引きつづき、今年度は小川資料中、約800点を誇る最大の資料群である南京関係資料のうち、写真資料を中心に588点をデータベースとして公開した（現状はテキストのみの公開であるが、6月中に画像とあわせて公開）。また、昨年度に資料を公開した五台山の関係資料については、今年度、喇嘛教という新視座を入れ、戦時下における日本軍と喇嘛僧との関係を考慮に入れて再考を試み、当該資料の歴史的価値づけについての見直しを行った。日中戦争勃発後、満州・蒙古・中国では蒙古民族と彼らの信仰する喇嘛教の扱いが統治上の重要課題となり、軍の特務機関との連携のもと、喇嘛僧を政治利用するための喇嘛教工作が、小川貴弐を含め、仏教史学者たちによって積極的に進められており、チベットを中心とした従来の世界観から喇嘛教を切り離し、日本を中心とした大東亜の新世界のなかにこれを位置付けるという、広く大陸全体で展開された喇嘛教工作の動きのなかで、小川貴弐の残した五台山資料を改めて読み解く必要性に強く迫られた結果である。

## 6. キーワード

日中交渉史 近代仏教史 学史研究 日中戦争 学術調査 中国開教

## 7. 研究発表

〔雑誌論文〕 計1件（うち査読付論文 0件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 藤井由紀子	4. 巻 -
2. 論文標題 チベット仏教（喇嘛教）の傀儡化	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 真宗大谷派の海外進出 満州開教（後編）	6. 最初と最後の頁 11,20
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

【研究代表者・所属研究機関控】

日本学術振興会に紙媒体で提出する必要はありません。

1 版

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

8．研究成果による産業財産権の出願・取得状況

計0件（うち出願0件／うち取得0件）

9．科研費を使用して開催した国際研究集会

計0件

10．本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
中国	山西省民俗博物館	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-				

11．備考

日中戦争下の学術調査と人的交流を探るプロジェクト 興亜留学生小川貫弐の記録  
<https://sites.google.com/view/doho-bukken-ogawadocuments>

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計18件（うち査読付論文 15件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 12件）

1. 著者名 藤井由紀子	4. 巻 42
2. 論文標題 西蔵寺蔵「小川貫弍資料」調査報告（七）	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 同朋大学仏教文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 107-112
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 藤井由紀子・小川徳水	4. 巻 42
2. 論文標題 史料紹介 龍谷大学大宮図書館蔵「小笠原彰眞資料」	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 同朋大学仏教文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 113-123
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 藤井由紀子	4. 巻 -
2. 論文標題 戦時下の中国仏教研究 南京仏学院と「亀谷法城資料」	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 同朋大学仏教文化研究所2022年度後期史料展示図録	6. 最初と最後の頁 1 8
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 藤井由紀子	4. 巻 41
2. 論文標題 西蔵寺蔵「小川貫弍資料」調査報告（六）	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 同朋大学仏教文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 13-17
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 藤井由紀子・川口淳・中川剛・日比野洋文	4. 巻 41
2. 論文標題 「小川貫弍資料」の学術公開とデータベース構築の試み 新型コロナウイルス流行下での資料共有方法の模索と構築	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 同朋大学仏教文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 18-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 藤井由紀子	4. 巻 -
2. 論文標題 日中戦争と華北開教	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 真宗大谷派の海外侵出 - 華北開教 -	6. 最初と最後の頁 27 43
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤井由紀子	4. 巻 40
2. 論文標題 西蔵寺蔵「小川貫弍資料」調査報告 (五)	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 同朋大学仏教文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 109 120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 藤井由紀子	4. 巻 -
2. 論文標題 十五年戦争と朝鮮開教	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 真宗大谷派の海外侵出 - 朝鮮開教 -	6. 最初と最後の頁 31 41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤井由紀子	4. 巻 -
2. 論文標題 台湾の皇民化政策	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 真宗大谷派の海外侵出 - 台湾開教 -	6. 最初と最後の頁 24 39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤井由紀子・花栄	4. 巻 39
2. 論文標題 西蔵寺蔵「小川貫弑資料」と中国(一)山西省太原における動向を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 同朋大学仏教文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 58 74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 藤井由紀子	4. 巻 39
2. 論文標題 西蔵寺蔵「小川貫弑資料」調査報告(四)	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 同朋大学仏教文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 49 57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 藤井由紀子	4. 巻 38
2. 論文標題 古林律寺と南京仏学院 西蔵寺蔵「小川貫弑資料」南京関係資料をめぐって	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 同朋大学仏教文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 143-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中川剛	4. 巻 38
2. 論文標題 新出の「亀谷法城資料」について	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 同朋大学仏教文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 169-175
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 藤井由紀子・小川徳水・中川剛・日比野洋文	4. 巻 38
2. 論文標題 南京関係資料一覧 西蔵寺蔵「小川貫弍資料」・明楽寺旧蔵「亀谷法城資料」より	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 同朋大学仏教文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 177-204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 藤井由紀子	4. 巻 -
2. 論文標題 系譜史料論の試み 岩瀬文庫蔵「法相宗相承血脈次第」影印・翻刻を通して	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 篠川賢編『日本古代の氏と系譜』(雄山閣)	6. 最初と最後の頁 191-234
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 千枝大志・川口淳・西村健太郎	4. 巻 41
2. 論文標題 アーカイブズ学に立脚した大学附属機関所蔵史料の保存環境改善ー本学仏教文化研究所と中京大学古文書室の取り組みを事例に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 同朋大学仏教文化研究所紀要	6. 最初と最後の頁 111-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 藤井由紀子	4. 巻 -
2. 論文標題 初期真宗 の聖徳太子信仰と史料学	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 同朋大学仏教文化研究所編『親鸞・初期真宗門流の研究』	6. 最初と最後の頁 411-448
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川口淳	4. 巻 -
2. 論文標題 真宗初期遺跡寺院調査とそのフィルム資料群のデジタル化	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 同朋大学仏教文化研究所編『親鸞・初期真宗門流の研究』	6. 最初と最後の頁 495-501
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計2件

1. 著者名 同朋大学仏教文化研究所	4. 発行年 2023年
2. 出版社 法蔵館	5. 総ページ数 520
3. 書名 親鸞・初期真宗門流の研究	

1. 著者名 篠川賢	4. 発行年 2019年
2. 出版社 雄山閣	5. 総ページ数 256
3. 書名 日本古代の氏と系譜	

〔産業財産権〕



〔その他〕

画像データベース「日中戦争下の学術調査と人的交流を探るプロジェクト 興亜留学生小川貫式の記録」(https://sites.google.com/view/doho-bukken-ogawadocuments)の構築とWeb公開。  
 (本データベースは、研究の根幹となる「小川貫式資料」の研究調査過程で、特に重要だと判断された五台山関係、南京関係の資料、約650点について、資料のデジタル化を行った上で、資料の概要や小川貫式による書込みの翻刻等、テキスト情報をデジタル画像に加えて、Webを通して公開したものである。ただし、当初は大学のサーバを通してデータベースを公開する計画であったが、サーバ管理やランニングコストの問題等、大学のサーバ上に研究成果をアップするだけの体制が十分整っていないことが判明し、改善要求も通らぬまま、やむなく無料のサーバを利用して公開する形をとっている。そのため、利用サーバの仕様変更により、一部資料が消失する、或いは、一部機能が停止するなどの事態がたびたび生じており、現状、データベースの安定的な運用については問題を残しているが、資料の画像データベース自体は問題なく構築されており、科研期間終了後も上記問題のクリアに向けて動いていく予定である)。

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	川口 淳  (KAWAGUCHI Atsushi)  (70802891)	同朋大学・仏教文化研究所・非常勤職員    (33911)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関		
中国	山西省民俗博物館	内蒙古社会科学院言語文字研究所	